



# カレッジ college news だより

2006 Nov.  
vol.

10

道民カレッジ受講生数  
19,394人(10月20日現在)

## 「遊び心でのんびりと」

ほっかいどう学コース 道民カレッジ修士  
小樽市 石 好八郎 氏



退職をして11年目になりました。これまでは同じ職場の友だちや、仕事上のお付き合いなどで楽しい日々を送ってきましたが、いざ毎日自由な時間と向き合うようになってみると、一日一日をどのように過ごしたらよいかを考えることは、実は大変なことだと改めて感じさせられました。そこで思いついたのが、何か継続的に出来ることに取り組みれば、毎朝、「今日は何をしようか・・・」と悩むことも無いということだったのです。全くつまらない発想なのですが、「ライフワーク」などという遠大なものを持っていない私には、これからの余生を如何に過ごすかを見つけるきっかけになればということで、気楽な時間つぶしに取り組むことにしたのです。

スタートは、NHK学園の通信教育から始まりました。この時には、国内旅行業務取扱主任・自然観察・写真などの講座を受講したのですが、これは私の趣味の一つである山登りをとても豊かなものに変えてくれました。現在も国内の各地の山を訪ねて仲間と歩き回っておりますが、これまでのピークハンターから自然を楽しむという気持ちに成長してきたように思いますし、「道民カレッジ」の“ほっかいどう学”や“環境生活”などに関心が向くようになった伏線になっているようにも思います。

テレビを眺めてゴロゴロしても一日ですし、粗大ごみ扱いされる前に外界に飛び出して自分なりの新しい発見を楽しむのも一日なのですから、どちらが精神的にも、肉体的にも健康な過ごし方なのかは明らかだと思います。専門的に学習を深めたいと考えておられる方には叱られそうですが、私の場合は余暇を利用して「道民カレッジ」の豊富な情報を基に“遊び心”を満足させてくれそうなものを選択し、楽しむことを重点に取り組んできたものですから、「カレッジの精神」から見ると邪道を歩いているのかもしれませんが、でも、背伸びをせずにマイペースでのんびりと“まなびを楽しむ”のも良いとお思いになりませんか。

とかく生涯学習といえますと肩肘張った感じがしますが、気楽に一時を楽しむ気持ちで参加してみることも意味があると思うのです。遊び心がなければ長続きはしないものです。何となくやっているうちに新しい自分に気付いたり、オマケ(単位)がたくさんたまったりして、末は博士が大臣かなどと一層遊び心に拍車がかかり、充実の日々を送ることが出来そうじゃありませんか。これからも友だちに声かけなどしながら、遊び仲間を増やしていきたいものだなあと思っておりますが、皆さんはいかがでしょう。

## 道民カレッジの現況

(平成18年10月20日現在)

今年度は、前期の連携講座がガイドブック掲載分で571講座に、その後の申請数を合わせ823講座に上っております。後期ガイドブックに掲載した講座数を合わせると1,450講座となります。その後も連携講座の申請が続いており、ホームページで検索の際は、ガイドブック掲載分については「トップページ」から、ガイドブック掲載以外の連携講座分については、キーワード「ガイドブック掲載外」と打ち込んでご利用ください。

### ◎平成18年度前期連携講座の集計(全823講座)

ほっかいどう学コース 132講座 能力開発コース 186講座 環境生活コース 101講座  
健康・スポーツコース 90講座 教養コース 314講座

◎称号取得者数 学士138名 修士70名 博士41名 学長奨励賞2名

### ◎管内別学生数(19,394名)

|     |        |        |      |        |      |        |      |
|-----|--------|--------|------|--------|------|--------|------|
| 管内  | 石狩     | 渡島     | 檜山   | 後志     | 空知   | 上川     | 留萌   |
| 受講生 | 6,681名 | 958名   | 992名 | 1,253名 | 902名 | 2,287名 | 677名 |
| 管内  | 宗谷     | 網走     | 胆振   | 日高     | 十勝   | 釧路     | 根室   |
| 受講生 | 518名   | 1,404名 | 489名 | 1,030名 | 525名 | 913名   | 765名 |

# 称号取得者等「学習成果活用セミナーⅣ」を開催

## テーマ：「道民カレッジモニター・ボランティア活動の方向性を探る」

平成16年度に第1回を開催して今回4回目を迎えたセミナーは、「道民カレッジモニター・ボランティア活動の方向性を探る」をテーマに、称号取得者、モニター、ボランティア49名が集い、これまでの学習を生かし取り組んできた活動の情報交換や、今後の活動の広がりを探るために、9月22日（金）に開催しました。

研修内容では、道民カレッジ事務局の武田が「道民カレッジ5周年を迎えて～これまで、そしてこれから～」と題し、過去3回のセミナーの成果や道民カレッジ称号取得者、モニター等の具体的な活動事例をもとに、道民カレッジの成果と課題について基調説明を行いました。

講演は、北海道医療大学教授の横井寿之先生より「自らの学習成果を地域活動に生かすとは～ボランティア活動の実際から～」と題し、社会福祉施設でボランティアの指導をされてきた経験をもとに、学んだことを生かし発展させるための方向性について示されました。特に、「市民のボランティアによる施設変革」というお話の中では、芸術活動ボランティア（絵画ボランティア・音楽ボランティア・書道ボランティア）、施設創作ボランティア（技術援助ボランティア・「友達」ボランティア）、施設整備ボランティア（建築、土木、園芸ボランティア・募金活動ボランティア）の3点について紹介され、ボランティア活動に対する期待についてお話されました。



午後からは、参加者相互の情報交換を行いました。

最初のグループワークでは、7班に分かれ、1. これまで取り組まれたモニターやボランティア活動の情報交換、2. 更なる道民カレッジの広がりに向けての活動、の2点について話し合いました。特に、2点目では、各地域の連携講座拡大についても話し合われました。参加者の半数以上が札幌近郊の方にも拘わらず、地域の立場にたった意見が多く出され、道民カレッジに対する熱意を感じさせてくれました。

最後に、グループの代表者から話し合いのまとめを発表し合い、今後の取組の方向性を確認しました。

### グループワークの発表内容から

#### 1 これまでの取り組んできた活動（モニター、ボランティアとして）

- ・各種関係機関への情報提供・講座内容の把握・道民カレッジの存在周知・小グループでの活動展開・グループ結集の調整・講座支援・老人大学、町内会へのPR・カレッジ生への声かけ、勧誘 等

#### 2 道民カレッジの広がりに向けて

- ・地域の教育関係機関へ連携講座拡大のはたらきかけ（カレッジ生自らの活動として）・eラーニングの活用
- ・各関係機関が実施している講座との単位の互換性を検討（市民講座等）・各種講座資料のモニター等への配付・一緒に学んでいるという仲間意識の醸成・連携講座への参加の声かけ・モニター、ボランティアの会合の設定・類似グループとの連携 等

今回のセミナーでは、道民カレッジモニター・ボランティア活動の方向性を探ることを中心に、参加者の皆様方に情報交換を行っていただきました。是非今後の活動に活かしていただければと考えています。

事務局及び事務局ボランティアが地域の皆様への情報提供を行ったり、また、地域の皆様から様々な情報をいただきながら、道民カレッジの推進を図っていくことが重要であります。今後とも、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



# 「ほっかいどう学」大学放送講座を更に充実

## 1 10大学が参加し「ほっかいどう学」を展開！

平成13年9月14日に開講し、5周年目を迎えた道民カレッジの運営の重点として、人材育成プログラムの開発や推進体制の確立等を図っているところです。また、昨年度から、自立した北海道の創造に寄与する人材の育成を目指して「ほっかいどう学」を基軸とした取組をスタートいたしました。

「ほっかいどう学」は、私たちがここで暮らしながら、知らないことが多い北海道や住んでいる地域の今を見つめ直し、その過去を知り、未来の姿を考え、それらを活かして「北海道づくり・地域づくり」に参加する協働の学びであります。

大学放送講座では、北海道地域を対象とする既存の学問の分野における成果をもとに、それらを地域研究として総合化し、より深めていこうとする学問としての「ほっかいどう学」を主体的に学習しようとする道民の意識づけやきっかけづくりとしています。

この放送講座も開講当初6回・6講座から今年度は、10回・10講座へと拡大し、10月7日から12月9日（再放送10月14日から12月16日）まで放送を行っております。

さらに、インターネットにより、今年度の大学放送講座の動画を視聴することができますので、是非ご活用ください。なお、アドレスは次のとおりです。

HBC北海道放送（北海道学びーびー） ■ <http://manabi.hotnet.co.jp> ■

（平成18年10月16日～平成19年3月30日予定）

## 2 「大学放送講座」 放映ビデオの活用と貸出し方法について

昨年度から、「大学放送講座」放映ビデオを道内各市町村教育委員会へ貸し出しております。更に今年度から高等学校にも貸し出しを行います。「大学放送講座」の終了後、1月～9月の期間を予定しております。

是非、市町村での講座及び高等学校での教育活動の一環としてご活用ください。

★【ビデオ研修+レポート提出】で「ほっかいどう学」コース1単位と必修単位1単位を認定します。

■ 情報交流広場（ビデオレファレンスコーナー）でも、大学放送講座のビデオ視聴ができます。

（かでの2・7 9階）（12月中旬～9月）

## 「ほっかいどう学」出前講座の今後の予定について

| 市町村  | テーマ  | 実施日   | 会場                | 問い合わせ先                            |
|------|--|-------|-------------------|-----------------------------------|
| 恵庭市  | コミュニティFMのまちづくり<br>～新しい文化の創造～                                   | 2月25日 | 恵庭市民会館<br>(大会議室)  | 恵庭市教育委員会<br>0123-33-3131          |
| 真狩村  | ・生涯学習活動を環境美化活動<br>という視点から考える<br>・生涯学習活動を農業の新たな<br>挑戦という視点から考える | 1月26日 | 真狩村公民館<br>(大ホール)  | 真狩村教育委員会<br>0136-45-3336          |
|      |  | 2月22日 |                   |                                   |
| 室蘭市  | 産学交流と起業家づくりで明日<br>の室蘭をつくる（仮称）                                  | 1月27日 | 室蘭市内              | 室蘭市教育委員会<br>0143-22-5101<br>胆振教育局 |
| えりも町 | 食のまちづくり<br>～漬け物のまちおこし～   | 1月13日 | えりも町福祉センター        | えりも町教育委員会<br>01466-2-2525         |
| 上湧別町 | 屯田のまちづくり<br>～地域社会での役割を考える～                                     | 2月9日  | 上湧別町文化センター<br>TOM | 上湧別町教育委員会<br>01586-2-2111         |

※【胆振管内】及び【網走管内】は検討中です。

# 「学長奨励賞」を受賞して

佐藤 一雄 氏

道民カレッジに入学して丁度4年をむかえた今年9月に、取得単位数が1,000単位を超え、去る10月20日、道民カレッジ5周年記念として開催された「ほっかいどう学」実践フォーラムにおいて学長奨励賞を受賞いたしました。

このような記念すべき席で、このような賞を頂き大変光栄に思っている次第です。

また、取得単位が1,000単位を超えたことは私一人の努力ばかりでなく、少なく見ても延べ500人の先生方のご指導があったればこそと深く感謝いたします。

このカレッジには、“環境”と“まちおこし”について学ぼうと思い入学しましたが、これらの事の他に法学や人文科学などの学術的なものを、また、庭木の剪定法といった実用的なものを学ばせてもらいました。現在の知識量は現役時代に比べ倍以上になったのではないかと思います。

これからは、前人未踏の各コース踏破に向けて一步一步と更に歩み続けたいと思います。

併せて、学んだ成果を自分自身のキャリアアップに、更にはボランティア活動に、そして地域の発展、北海道の発展に活かしたいと思っていますので、旧倍以上のご指導ご鞭撻をお願い致します。



10月20日「ほっかいどう学」実践フォーラムにおいて

## 新規 道民カレッジ称号取得者一覧

(平成18年3月2日～10月25日)

### 【学長奨励賞】 2名中

佐藤 一雄 (江別市)

### 【道民カレッジ博士】 44名中

小杉 茂 (江別市)、菅原セイ子 (札幌市)、藪谷 義雄 (帯広市)、荻野 貞範 (千歳市)、  
山吹 英男 (音更町)、佐藤 文彦 (帯広市)、中嶋 深幸 (札幌市)、渡辺 実 (旭川市)、  
斎藤 和男 (札幌市)、逢坂 利昭 (札幌市)

### 【道民カレッジ修士】 74名中

丸川 和宏 (当別町)、山吹 英男 (音更町)、荻野 貞範 (千歳市)、新村 祐吾 (札幌市)、  
高畑 司 (札幌市)、深畑千恵子 (札幌市)、菅原セイ子 (札幌市)、加藤 利昭 (札幌市)、  
佐々尾雅志 (札幌市)、船田 公正 (札幌市)、大方 英雄 (旭川市)、高橋 松雄 (江別市)、  
伊藤金五郎 (札幌市)、田中 裕史 (帯広市)、石 好八郎 (小樽市)、佐藤 文彦 (帯広市)、  
藪谷 義雄 (帯広市)、鈴木 久美 (札幌市)、関口 義幸 (江別市)、川原 一成 (札幌市)、  
西野 祥子 (帯広市)、逢坂 利昭 (札幌市)

### 【道民カレッジ学士】 140名中

丸川 和宏 (当別町)、竹内 龍一 (札幌市)、松田 幸雄 (帯広市)、箕浦 義則 (帯広市)、  
西野 祥子 (帯広市)、中塚 豊 (札幌市)、菅原セイ子 (札幌市)、加藤 利昭 (札幌市)、  
大方 英雄 (旭川市)、川原 一成 (札幌市)、田中 裕史 (帯広市)、金戸 良子 (千歳市)、  
犬養 希佑 (札幌市)、佐藤 一雄 (江別市)、小山内純一 (札幌市)、松田 仁明 (釧路町)、  
宮口 義雄 (鹿部町)、嘉藤 裕一 (札幌市)、内田美佐子 (音更町)、永井 頼恵 (江別市)、  
上口たみ子 (池田町)、鎌田 静思 (上磯町)、鈴木 久美 (札幌市)、大西 光一 (帯広市)、  
秋江 慶子 (帯広市)、林 君雄 (札幌市)、関口 義幸 (江別市)、逢坂 利昭 (札幌市)

## カレッジだより Vol.10

平成18年11月発行

編集・発行 道民カレッジ事務局

財団法人 北海道生涯学習協会

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目かてる2・7ビル9階

TEL(011)231-4111(内線36-343) FAX(011)281-6664

URL <http://www.hsgk.jp/college/> Eメール [college@hsgk.jp](mailto:college@hsgk.jp)

